

(款) 55教育費 (項) 25保健体育費 (目) 5保健体育総務費

◎保健体育一般の経費

学校体育施設開放事業

【 スポーツ課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

スポーツ・レクリエーション: 市民が自らの健康状態に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 地域の学校体育施設を開放することで、身近なところで気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを振興するため。

効果 市民スポーツ・レクリエーションの推進を図る。

【事業の内容】

(1) 学校体育施設開放事業

- ・ 地域に身近な学校の体育館・校庭・プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,560	19,560	19,221		339

主な支出内訳

・ 学校体育施設開放事業

学校体育施設開放消耗品費	843
運営協議会業務委託料	375
学校プール監視業務委託料	16,433
ナイター設備照明保守管理委託料	189
学校体育施設開放用備品購入費	386

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-11 学校体育施設開放事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	202 学校体育施設開放事業					
主管課	スポーツ課	関連課					
分野名	スポーツ・レクリエーション						
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及および学校体育施設開放事業の推進を図る。 市民のスポーツ実施率を60%にする。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	利用者数	337,069人	328,193人	316,914人			
運営資源 状 況	決算値	19,221千円	15,233千円	15,377千円	プール監視業務委託 料増のため決算額増		
	(国・県)						
	(負担金等)	683千円	775千円	447千円			
	(一般財源)	18,538千円	14,458千円	14,930千円	深沢中学校耐震工事 のため夜間施設利用 料減		
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人			
	人 件 費	8,717千円	8,820千円	9,325千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	27,938千円	24,053千円	24,702千円			
	市民1人当 りの経費	158円	137千円	141円			
	対象者1人 当りの経費	83円	73円	78円			
19年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
開放施設利用者数	◎	目標値	320,000人	320,000人	320,000人	320,000人	320,000人
		実績値	328,193人	337,069人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
夜間施設利用料	×	目標値	900,000円	900,000円	900,000円	900,000円	900,000円
		実績値	775,000円	683,000円			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
学校プール監視業務	×	目標値	12,863,000円	12,863,000円	12,863,000円	12,863,000円	12,863,000円
		実績値	12,757,500円	16,432,500円			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) ナイター照明設備、更衣室、シャワー等施設の整備や備品の充実が必要。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 限られた予算の中、ナイター照明設備の修繕を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 施設の整備及び備品の充実
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1) 施設の整備及び備品の充実を計画的に進める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	スポーツ施設の整備状況が十分とは言えない中、市内にある有効な資源であり、スポーツ施設として引き続き活用を図っていく。			
担当課長氏名:	スポーツ課長 小池 忠紀			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	学校との連携を密にして協力を得ながら引き続き活用を図っていく。			
担当部名	生涯学習部長	部長名	金川 剛文	